

大内文化と交流の歴史がみえてくる

[企画展]

中世山口への

海と道

う み

み ち

2025

2026

12.12 Fri - 2.8 Sun

山口県立山口博物館

〒753-0073 山口県山口市春日町8-2
TEL/083-922-0294
後援/一般社団法人山口県観光連盟

休館日 毎週月曜（祝日の場合は火曜休館）・年末年始
観覧料 常設展観覧料に含む（一般200円、学生130円）
70歳以上の方、18歳以下、小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する児童生徒は無料。



交流の歴史がみえる展示品



初公開 笏谷石狛犬
[宇部市 西宮八幡宮蔵/18世紀/越前産]



青花双耳付角形花瓶
[山口市教育委員会蔵/16世紀/中国産]



龍泉窯系青磁碗
[土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム蔵/12世紀/中国産]



大内義興像
[当館蔵・パネル展示/大正時代模写]



初公開 日引石石塔
[下関市豊北町肥中 誓念寺蔵/15世紀/若狹産]

三方を海に開かれた山口県は、古くから朝鮮半島や中国大陸との豊かな交流を重ねてきました。中世には大内氏が貿易を推進し、港や街道を通じた人や物の往来が活発になります。本展では、長門市の三隅熊野権現社や宇部市の西宮八幡宮に伝わる「狛犬」をはじめ、県内各地に残された資料から、海と道がつないだ交流の歴史をひもときます。

当時の主要な港・街道



ギャラリートーク 1月31日(土)午後2時～、2月1日(日)午後2時～